

2026 年 10 月 30 日(金)
株式会社ブシロードワークス



報道関係者各位

★PRESS RELEASE★

「ブシロードワークス」×「小説家になろう」で贈る
【第 1 回ブシロードワークス小説大賞】最終結果発表！

株式会社ブシロード（本社：東京都中野区、代表取締役社長：根本雄貴）のグループ会社にあたる株式会社ブシロードワークス（本社：東京都中野区、代表取締役社長：新福恭平）は本日 10 月 30 日(金)に、小説コンテスト「第 1 回ブシロードワークス小説大賞」の最終選考結果を発表いたしましたことをご案内いたします。



開催概要

「第 1 回ブシロードワークス小説大賞」は、小説投稿サイト「小説家になろう」×「ブシロードノベル / スリーズノベル」で贈る、エンタメ小説の公募文学賞です。

審査員には『魔法使いの嫁』の漫画家ヤマザキコレ先生や、ブシロードノベルで執筆するプロの小説家が参加しております。

第1回にもかかわらず、応募総数は14,828作品に上りました。

たくさんのご応募をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

選考の結果、このたび、下記作品を受賞作品として決定いたしました。

書籍化確約の受賞作については順次刊行してまいりますので、発売まで楽しみにお待ちくださいませ。

受賞作

書籍化確約！

【銀賞】30万円

『婚約破棄をでっち上げられた商人令嬢は、面倒ごとを避けるため堅物騎士と契約結婚します。～これで仕事に集中できる！～』

春樹凜

『エーファは反溺愛の狼煙を上げる』

頼爾

書籍化確約！

【銅賞】10万円＋【審査員賞】7万円

『代理母のエルフ 【エルフ 2.0 存在を科学的に肯定してみた】』

くられ

書籍化確約！

【銅賞】10万円

『婚約破棄の代行はこちらまで ～店主エレノアは、恋の謎を解き明かす～』

雨沢雫

書籍化検討

【審査員賞】7万円＋【編集部賞】3万円

『僕の部屋がアイテムボックスになった件』

ぎあまん

書籍化検討

【編集部賞】3万円

『追放された悪辣少女の辺境生活 ～チート魔法と小人さんのお陰で健康で文化的な最高レベルの生活を

営んでいます～』

もーりんもも

『悪の種子』

ひよこ 1 号

『カエル顔の【沼の魔女】になった令嬢は、前世で婚約者だった王太子様に会いたい』

津月あおい

『橋花国志 翠蓮皇女異聞 ～黄泉がえり皇女は前世の仇とともに天下泰平を目指す～』

澤村 宇月

『ゴミスキルだと捨てられた少女たち、実は最強の生活能力スキルだったので気楽なスローライフ冒険旅を満喫する』

鳥助

『魔王に飽きたので道具屋になって平凡な生活を始めてみました』

橘つかさ

『愚か者の後悔』

お伝

【短編賞】

短編賞の受賞作品は、一覧ページにまとめて掲載しています。

<https://bushiroad-works.com/info/bwk-novel-award-01-short-story/>

総評



【猫石先生】

生まれて初めて小説賞の審査員という立場から作品を拝見いたしました。物語の始まりからワクワクする作品が多く、一読者として先に先にとページをめくる（画面を進める）手を進めてしまいました。

拝見した作品の数々は、現代から異世界を覗き込ませるもの、登場人物たちの思惑と思考が緻密に交差するパズルのようなもの、愛憎や悲喜が交錯する緊迫の瞬間に何気ない日常の幸せを色鮮やかに描いたものなど、どれも「作者様の個性と作品世界を読んでほしい！」という強い気概が感じられるものばかりで、つい時間を忘れて読み耽ってしまった作品もありました。その一方で、序盤から延々と苦しい情景や既視感のある展開の繰り返しが続き、手が止まってしまう作品も中にはありました。

「読者を退屈させずに物語の世界に引き込み続ける難しさ」は、私自身が日々机の前で頭を抱えて勉強している真っ最中です。だからこそ、創作に向き合う皆さまの熱い気持ちが詰め込まれて紡がれた作品に、私の方がたくさん刺激をいただき、背中を押されました。素敵な作品を読ませていただき、本当にありがとうございました。



【飯田栄静先生】

この度、「第1回ブシロードワークス小説大賞」にご応募くださりどうもありがとうございました。
私、飯田栄静は初めて審査員という機会をいただきました。とても大きな経験をさせていただいたこと
心から感謝いたします。全力で作品を読ませていただきました。

作品全体を通じて、魅力的な作品ばかりでした。

登場人物、ストーリーはもちろんのこと、設定も作り込んでいる作品ばかりで夢中で読ませていただきました。

とにかくクオリティが高い作品ばかりで、ひとりの作家としてとても良い刺激を受けました。

受賞された作品はすべて素晴らしい作品ばかりですが、その中で個人的に「推し」な作品に触れさせてください。

『エーファは反溺愛の狼煙を上げる』

不屈の意思を持つエーファがとにかく魅力的に映りました。読みながら応援してしまう主人公です。また、獣人の設定が細かく話が進む度に驚かされました。

『婚約破棄をでっち上げられた商人令嬢は、面倒ごとを避けるため堅物騎士と契約結婚します。～これで仕事に集中できる！～』

とても甘めなストーリーを堪能させていただきました。テンポ良く夢中に読ませていただきました。

『代理母のエルフ 【エルフ 2.0 存在を科学的に肯定してみた】』

まず設定が凄すぎでした。タイトルから驚きますよね。どのような内容なんだろう、読む前にそう思わずにはいられませんでした。推しですが、推しゆえに内容にはあえて触れず、ぜひその目で確認してほ

しい。そう思います。

今後、大変なこともあるでしょうが頑張ってください。

何か困ったことがあれば気軽にご相談ください……と先輩面をさせてください。

——受賞、おめでとうございます！



【ヤマザキコレ先生】

大事な作品を応募してくださった皆さま、ひとまずはお疲れ様でした。

全体的には題材などかなりバランスよく分かれてくれたのではないかと思います。選考基準としては「文章の読みやすさ、とっつきやすさ」「全体構成の巧みさ」「独りよがりではないか」などを主な基準とさせていただきました。

ウェブ上で個人連載できる小説のいいところは「その時自分が書きたいこと」をすぐ反映できるころだと思えます。しかしそれが全体の構成や本来のテーマをぼかしてしまい、最終的な着地点をおろそかにしてしまいがちです。月間連載を抱える自分にもブーメランの如く刺さりますが、誰かが読むという前提の作品を1本書き上げるにはおおまかでも全体の構成を作成し、それを俯瞰しストーリーやキャラクターの凸凹のバランスをとることが大事です。それが非常に巧みであった方もいらっしゃる一方、まだまだ伸びしろのある方もいらっしゃいました。もっといい味付けができそうだな、書かれた文章はとても楽しそうだけど読者の方はまだ見えていないな、など、改善点がたくさんありそうな作品が多く非常にわくわくさせていただき、大変有難いことです。

次回を楽しみにしております。

【ブシロードノベル編集部】

初開催ながら、応募総数 14,828 作品という大変多くの作品をお寄せいただきましたこと、編集部一同、厚く御礼申し上げます。また、多数のご応募をいただいたことで、一作一作を精査するために当初の想定以上のお時間を頂戴し、結果発表まで長らくお待たせしてしまいましたことをお詫び申し上げます。

今回は「ジャンルを問わず、面白いと思える作品を」と呼びかけたこともあり、予想を上回る数の意欲作が集まりました。それだけに最終選考では評価が大きく分かれ、議論が白熱する場面も少なくありませんでした。議論を尽くしましたが、編集部全員が迷いなく推せる一作には至らなかったため、今回は金賞以上を見送る判断をいたしました。

応募作全体を振り返りますと、ランキングがもたらす良い影響もあってか、トレンドを押さえつつ、設定やキャラクターでいかに独自性を出すかをしっかりと考えて書かれた作品が多い印象を受けました。何を取り入れ、何を削るか。取捨選択の巧みさには、舌を巻くものもありました。

一方で、惜しいと感じる作品も少なくありませんでした。

その一つが、書き出しです。読み進めれば良さが伝わる作品であるにもかかわらず、最初の数行で読者をかなり取りこぼしているように見え、もったいなく感じることもしばしばでした。読者に甘えることなく、書き出しのひと言に心血を注いでいただければと思います。

また、もう一つ感じたのは世界観や設定の見せ方です。

物語の土台となる世界観や設定を練り上げる作業は、創作における大きな楽しみの一つです。時間をかけて作り上げたからこそ、一番に読者へ披露したくなる部分であると思います。しかし、それを読む側に立ったとき、その情報自体が本当に「楽しさ」になっているのかについては、一度冷静に見つめ直していただくと読者にとって面白いものとなるかと思います。緻密な設定や壮大な世界観は、作品の大きな魅力になり得ます。とはいえ、それらをただ説明し、開陳するだけで読者に「面白い」と感じてもらうことは、書き手が想像している以上に難しいことでもあります。

ただ、「設定を語ることを避けたほうがよい」と言いたいわけではありません。

難易度の高い表現であることを理解したうえで、そうした選択を自覚的に行い、今書いている作品にとっての最善が何かを考えることが結果として作品をより魅力的にするのではないのでしょうか。

今回の応募作には、「読者を楽しませること」に徹底して向き合った作品もあれば、「自分が書きたいもの、自分が面白いと思うもの」を突き詰めた作品もありました。方法はそれぞれ違っていても、一人

ひとりが自分なりの形で「面白いとは何か」に向き合って生み出した作品を拝読できたことを大変嬉しく思っています。選考する側にとっても、非常に刺激的で素晴らしい時間でした。

惜しくも受賞には至らなかった作品の中にも、強く印象に残るものや独自の魅力を放っているものが数多くありました。今回の作品だけでなく、次にどのような作品を書かれるのか、ぜひまた読んでみたいと思わせてくださった方も多くいらっしゃいました。そのことも、ここに書き添えておきたいと思います。

銅賞以上を受賞された作品につきましては、これから書籍化に向けて動いてまいります。

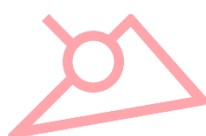
今後も編集部一同、「面白い作品を世に送り出す」ということに真摯に向き合い続けてまいります。今回受賞された作品、そしてブシロードワークスがこれから世に送り出していく作品にも、ぜひご注目いただければ幸いです。

詳細につきましては、特設サイトよりご確認をお願いいたします。

「第1回ブシロードワークス小説大賞」特設サイト：<https://award.bushiroad-works.com/bwk-novel-award-01/>

ブシロードノベル
BUSHIROAD NOVEL

ブシロードノベル公式サイト：<https://bnovel.bushiroad-works.com/>

 **Cerise novels**

スリーズノベル公式サイト：<https://cnovel.bushiroad-works.com/>

※ご紹介いただく際は、権利表記として下記の記入をお願いします。

©BUSHIROAD WORKS

※「小説家になろう」は株式会社ヒナプロジェクトの登録商標です。